

令和7年度 江釣子小学校教職員 働き方改革アクションプラン

～より豊かな人生を送るために～

江釣子小学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

〔定量的現状〕

◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」目標達成状況について
「時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。」

・R7年度目標:9人(R6年度:12人)

「時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。」

・R7年度目標:0人(R6年度:1人)

〔定性的現状〕

○ 教職員の意識

- ・本校で推進する校務マネジメントの取組は全教職員に周知されている。
- ・時間外勤務している教職員が固定している。

○ 管理職のマネジメント

- ・新たな業務が発生した際、スクラップアンドビルドの視点をもって業務見直し等の対応を行っている。

2 目標・目指す姿

<R7年度目標>

○ 北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に掲げるR7年度の目標を達成します。

○ 本校に勤務する先生方の生活の質を向上します。

<目指す姿>

【管理職】

- ・教職員の職務と健康状態を把握し、教職員に対し支援を行っている。
- ・学校全体の業務量削減やICTを活用した業務の効率化を推進する。

【教職員】

- ・教職員がいきいきとやりがいをもって、子どもたちに向き合うことができている。
- ・子どもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。
- ・業務改善について、教員から積極的に提案がなされている。
- ・休憩の時間を十分に確保できている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・働き方改革プランの取組を確実に実施し、教職員の健康を確保します。
- ・事案発生時には組織的に早期対応し、長期化しないようにします。
- ・管理職が、健康管理について積極的に声掛けをします。
- ・月の途中で月の時間外在校等時間が35時間超となった教職員に対して、当該時間を知らせるとともに、健康確保の観点から、早期退庁を促します。
- ・健康相談事業等、職員の状況に応じ、共済保健事業についての活用を促進します。
- ・定期健康診断、勤務時間外状況等のデータに基づき、管理職は教職員への面談を適宜実施します。

○ 学校における業務改善の推進

- ・勤務時間外労働45時間以内に向け、教育活動すべての取組について検討します。
- ・管理職が、諸行事の精選について積極的に提案します。
- ・校務支援システム等、ICTの活用により、業務の効率化を進めます。
- ・職員の意識改革を目的に、月に1度定時退庁日を設けます。
- ・定期的に、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定します。(安全衛生委員会等)
- ・PTA活動については、安易にコロナ禍前に戻すことなく、教育において真に必要な観点から業務の見直しを進めます。
- ・留守番電話を利用し、時間外対応を削減します。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・登下校の見守り業務、スポーツ少年団活動等について、勤務時間の適正化を図るよう関係団体との協議を進めます。
- ・休日の諸活動については、地域の理解・協力を得て対応します。
- ・教職員参加の地域行事等について、学校の実情をふまえて精選等を行います。
- ・働き方改革に向けた取組について、保護者の方に理解いただけるよう啓発活動を行います。

令和7年4月1日 北上市立江釣子小学校長 松本 圭

(参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

○ 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

(1) 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。

〔・令和6年度実績(6月調査) 228人 割合 42.0%〕

(2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。

〔・令和6年度実績(6月調査) 27人 割合 5.0%〕